

老後の生活安定のため 国民年金に加入しましょう

国民年金は、わが国の社会保険制度のなかで、厚生年金や公務員の共済組合とならんで、老後の生活を保障する、たいせつな柱となっている制度です。

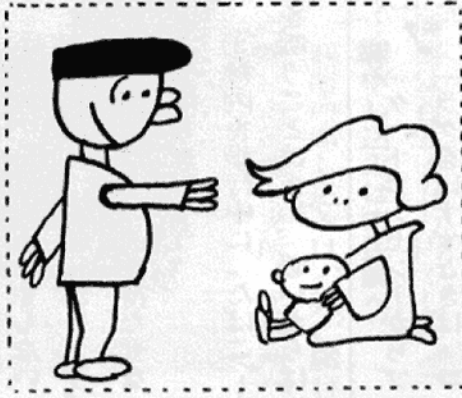
現在では、この制度に対する理解も深まり、市内の加入者は五千四百五十人に達しています。しかし、まだ当然加入しなければならぬかたも、かなり見受けられます。

私たちの将来の生活を豊かにするため、すすんで年金に加入しましょう。

どういふ人が加入するか

○加入しなければならない人
このような人を「強制加入者」といい、①満二十歳に達した人や、昭和三十六年四月一日現在

また、会社などを途中退職した人で、厚生年金から脱退した人も強制加入者となり、同時にその配偶者も年金に加入しなければなりません。
○希望により加入できる人
このような人を「任意加入者」といいます。



で満五十歳未満の人で、②厚生年金や公務員の共済組合（公的年金という）などに加入していない、農家・商店・自家営業および無職の人などです。

危険物取扱者試験と 受験準備講習会

○試験

とき 六月十八日
ところ 作新学院（宇都宮市）
種別 甲・乙・丙種の全類

○準備講習会

とき 六月一日～三日
ところ 栃木会館（宇都宮市）
○申込 五月十八日から二十五日までに市消防署へ

5月は……

赤十字社員増強運動月間です

便利のために、各町内に保険料納入組合があります。

将来受けられる年金

老齢年金は満六十五歳から受



といい、①公的年金に加入している人の配偶者や、②遺族年金や恩給（軍人恩給を含む）などを受けている人、③学生などです。

納める保険料は

一か月、四百五十円ですが、七月から五百五十円になります。納入には、加入者の皆さんの

○赤十字は みんなのしごと

日本赤十字社では、毎年五月一日から一か月間「赤十字社員増強運動」を行なっています。

赤十字社は、社員や篤志家によってなつたっており、災害時の救護や罹災者の救援のほか、医療や血液の事業奉仕団や、青少年赤十字の育成指導など、その活動は国内だけでなく、各国の赤十字社とも力を合わせて進められています。

○だれでも 社員になれます

赤十字社員は、この事業を行なううえのたいせつな柱ですが事

市役所人事異動

(一)内は旧職

- ▽保健衛生課長 五月女利久
- (リフト事業所長) ▽福祉事務所長 小林吉次郎 (監査委員事務局長)
- ▽監査委員事務局長 兼 選挙管理委員会書記長 兼 市史編纂室長 福田要 (保健衛生課長)
- ▽リフト事業所長 池田行雄 (社会教育係長) ▽建設課長 補佐兼管理係長 南知三 (管理係長)
- ▽建設課長 補佐兼土木係長 入江忠男 (土木係長) ▽都市計画課長 補佐兼都市計画係長 星野吾司郎 (都市計画係長)
- ▽都市計画課長 補佐兼区画整理係長 江連亘 (区画整理係長)
- ▽会計課長 補佐兼会計係長 柴田成男 (会計係長) ▽福祉事務所長 補佐兼福祉係長 星寛 (福祉係長)
- ▽水道課長 補佐兼工務係長 福田正顕 (工務係長)
- ▽福祉事務所付 福田和寿 (福祉事務所長)
- ▽総務課庶務人事係長 笹川司郎 (税務第二係長) ▽税務課 税務第二係長 上木一男 (学校教育係長)
- ▽農林課林務係長 星野繁 (清掃事業所主査) ▽学校教育課 学校教育係長 吉原勝明 (都市計画係主査) ▽社会教育課 社会教育係長 野部担 (同課施設係長)
- ▽同課施設係長 池川進 (同課施設係担当) ▽水道課 給水係長 君島祥介 (同課工務係主査)